

# コクラン

*Liparis nervosa* (Thunb.) Lindl.  
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内では生育地が一部の地域に限られており、個体数も少ない。今回の調査でも、生育が確認できたが、獣害等の里地・里山の生育環境の変化で株が被害を受けて、減少する可能性がある。

## 種の特徴

常緑広葉林の林内にみられる。偽球茎は多肉質で前年のものが残る。葉は長さ5～12 cm、幅3～5 cmの広楕円形。葉脈がはっきりしている。花茎は長さ15～30 cm。茎頂には暗紫色の花を総状に数個つける。唇弁はくさび状の倒卵形で反曲する。花期は6～7月。

## 分 布

国内では本州～九州に分布。県内では常緑広葉樹林の林床にみられ、嶺北の一部の地域、嶺南の一部の地域に分布している。

## 生育を脅かす要因

里地・里山の林床にみられ、森林開発による、生育地の環境悪化や獣害等。

参考文献 福井県植物研究会（1998）、大橋広好ほか（2015）、若杉孝生（1970）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○		○	○	○						○	○				○

# トンボソウ

*Platanthera ussuriensis* (Regel et Maack) Maxim.  
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

生育地、生育数とも少ない。

## 分 布

全国分布は北海道～九州。県内分布は若狭町、美浜町、勝山市。

## 種の特徴

湿性の林内や草原に生える。茎は高さ15～30 cm。葉は狭長楕円形で、茎の下部に2葉をつけ、上部には数個の鱗片がある。花は小さく長さ3.5 mm、葉の上部に多数総状につけ、淡黄緑白色。側花弁は狭卵形、唇弁は長さ3.5 mm、3裂し中裂片は舌状。距は細く長さ5～6 mm。

## 生育を脅かす要因

開発による生育地の減少等。

参考文献 遊川知久ほか（2015）、前川文夫（1971）、大橋広好ほか（2015）、畔上能力ほか（2013）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○											○		

# ショウキラン

*Yoania japonica* Maxim.  
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内では生育地が嶺北と嶺南の一部地域に限られており、今回の調査でも、生育地の確認ができたが、登山道の拡張、踏みつけや生育地の崩落等により、生育数は少なくなっている。

## 分 布

国内では北海道～九州に分布。県内では嶺北と嶺南の深山に生育している。

## 生育を脅かす要因

登山道整備や雪崩等による、生育地の消失。踏圧。

## 種の特徴

山地林内やササ原に生える。腐生ランで地下茎は肉質の円柱状で分枝して、先から地上茎を伸ばす。地上茎は淡紫色帯びた白色で高さ10～30 cm。茎頂に長い花柄を持ち、密に数個の花をつける。花は淡紅色。

参考文献 福井県植物研究会（1997）、大橋広好ほか（2015）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
				○											○	○	